

英語科学習指導案

令和元年10月7日(月)第5校時(13:50~14:40)2年3組

T1

T2

T3

題材名 Program 6 A Work Experience Program (Sunshine English Course 2)

【目標】

職場体験や将来の夢について、自分の考えを理由を示しながら、「カットアウトピクチャー」を使ってスピーチをすることができる。

I 課題発見型学習活動

- やり取りや視覚的教材から題材を類推する。
- カットアウトピクチャー(写真や絵、情報をまとめた発表者用の資料)を活用した、show & tell形式のスピーチを行う。
- 話し手聞き手双方の相手意識を大切にされた会話活動を行う。
- 文章の構成を考えながら行うスピーチや書く活動を行う。
- 教科書本文の大まかなあらすじを読み取る活動を行う。
- 教科書本文の内容を活用しながら文章の構成を考える活動を行う。

【単元の課題】

職場体験や将来の夢について、カットアウトピクチャーを使って自分の考えをスピーチしよう。

II 単元計画(全9時間予定)

過程	時間	〇めあて ・主な学習内容	*	評価の観点			
				関	表	理	言
つかむ	1	○職場体験での経験や将来の夢についてやり取りをして、本単元の見通しをもとう。 ・職業の英語での言い方を知ることができる。 ・既習表現を使って、職場体験での経験を伝え合うことができる。(試しの活動)	A	○			
	2	○職場体験で行った仕事とその目的について伝えよう。 ・小学校で行った「将来の夢を伝え合う」活動を振り返りながら、to不定詞について知ることができる。 ・to不定詞に慣れるために繰り返し表現を使うことができる。 ・to不定詞を使って、職場体験での経験を伝えることができる。	A B				○
追求する	3	○教科書本文 section 1、section 2を読み、由紀と武史の職場体験での経験や将来の夢について理解しよう。 ・教科書本文 section 1を読み、由紀の職場体験での経験や将来の夢について理解することができる。 ・由紀と武史の職場体験について教科書本文から分かったことを、カットアウトピクチャーにまとめることができる。 ・カットアウトピクチャーを使って、由紀と武史になりきって職場体験での思い出や将来の夢について紹介することができる。	B C			○	○

* 単位時間の中心活動(はばプラII参照)

	4 (本時)	<p>○教科書本文の内容を参考にして、職場体験での経験や将来の夢について伝え合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文 section1、2 を相手意識をもちながら気持ちを込めて音読することができる。 ・前時に作成した由紀と武史のメモを参考に、自分の経験や夢についてカットアウトピクチャーに情報を書くことができる。 ・カットアウトピクチャーを使って教科書本文の内容を参考に、自分の職場体験での経験や将来の夢について伝えることができる。 	B						
	5	<p>○職場体験での経験や将来の夢についてやり取りをすることで、カットアウトピクチャーにさらに情報を付け足そう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・to 不定詞を使った文構造が分かる。 ・to 不定詞を活用してやり取りをすることができる。 	A						
	6	<p>○教科書本文 section 3 を参考に、職場体験の経験や将来の夢についてのスピーチの構成をよりよいものにしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の内容を理解し、相手をより意識しながら音読できる。 ・教科書本文を参考に、職場体験での経験や将来の夢について伝え合うことができる。 	B						
まとめ	7	<p>○聞き手が理解しやすいスピーチをつくろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やり取りを通して得た情報を、カットアウトピクチャーに付け足すことができる。 ・友達や教師のモデルスピーチを参考に、スピーチを再構成することができる。 	B						
	8	<p>○職場体験での経験や将来の夢について、文章の構成を考えながらスピーチをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章のまとまりを考えながらスピーチをすることができる。 ・スピーチを聞いて、質問をしたり、感想を伝えたりすることができる。 	B						
	9	<p>○ALT に職場体験での経験や将来の夢について伝えよう。 (Challenge Time)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT に職場体験での経験や将来の夢についてスピーチをすることができる。 ・ALT が示す反応や質問に対して、応じることができる。 	B						

* 単位時間の中心活動 (はばプラⅡ参照)

「単位時間の中心活動 (はばプラⅡ参照)」について

A : 「単元の課題の解決」に向けて、新出言語材料に触れる。

B : 新出言語材料を活用する言語活動に取り組む。

C : 教材にあるまとめの活動や、教科書の本文理解など、本文に関する言語活動に取り組む。

Ⅲ 「つかむ過程」における授業の展開（1／9）

A

1 ねらい 職場体験での経験や将来の夢についてやり取りをして、本単元の見通しをもつことができる。

2 展開

学習活動（分） ○：留意点 点線囲：評価 ☆：生徒の意識

1 あいさつ・帯活動(communication time)に取り組む。（10分）

- ・いろいろな職業の英語での言い方について知る。
- 絵カードを使って、職業について英語での発話を繰り返す。

2 単元の課題をつかむ。（10分）

- 生徒が職場体験で仕事をしている様子を示した写真を使って、生徒とやり取りをしながら、題材のテーマがつかめるようにする。
- 教師が中学生時代に経験した職場体験やその当時の夢について、カットアウトピクチャーを使いながらスピーチをすることで、「単元の課題」をつかめるようにする。
- 「単元 can-do リスト」でこれからの活動を把握できるようにする。
- ☆カットアウトピクチャーを上手にを使って、やり取りのあるスピーチをしたいなあ。

【単元の課題】

職場体験や将来の夢について、カットアウトピクチャーを使って自分の考えをスピーチしよう。

3 本時のめあてをつかむ。（2分）

【本時のめあて】

職場体験での経験や将来の夢についてやり取りをして、本単元の見通しをもとう。

4 本時の活動に取り組む。（18分）

- 既習表現を使って、ペアで職場体験での経験や将来の夢について話し合う。
- 写真を使って、職場体験の経験や将来の夢について伝え合う。（試しの活動）
- カットアウトピクチャーを使って、どのように紹介するかを考える。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

職場体験での経験や将来の夢についてやり取りをして、本単元の見通しをもつことができる。
(観察、リフレクションシート)

5 振り返りを行う。（10分）

- 職場体験や将来の夢について伝えられたことや本単元の課題について考えたことを振り返るようにする。
- ☆過去形を使って職場体験で行ったことを伝えたり、小学校で学んだ表現を使って将来の夢について伝えたりすることができた。
- ☆カットアウトピクチャーを使って、聞き手が分かりやすいスピーチをすることが分かった。

VI 「追求する過程」における授業の展開（4／9）

B C

1 ねらい 教科書本文の内容をもとに、職場体験での経験や将来の夢についてカットアウトピクチャーを使って自分の考えを互いに伝え合うことができる。

2 展開

学 習 活 動 ☆：生徒の意識	指導上の留意点及び支援のポイント		
	T1	T2	T3
<p>1 Communication Timeに 取り組む。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真に写った職業の英語での言い方を知る。 ・カードを使って「職業当てクイズ」を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真を見せながら、いろいろな職業の英語での言い方を確認し、小学校での学習が思い出せるようにする。 ○活動後、それぞれの仕事内容を英語で説明する表現を全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に活動に参加し、コミュニケーションの相手となる。 ○必要に応じて、活動で使えるヒントを紹介し、参考にできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動が行えない生徒には、個別で一緒に発音する。
<p>2 展開(30分)</p> <p>①前時の復習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文section1、2の内容を振り返る。 ・教科書本文を音読する。 ・由紀と武史の立場になってカットアウトピクチャーを使いながら、職場体験での経験や将来の夢について伝え合う。 <p>②本時のめあてをつかむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒とやり取りをしながら、教科書本文の内容を振り返る。 ○教科書本文の内容が伝わるように感情を込めて音読するように伝える。 ○伝える側の生徒には、一方的に伝えるだけでなく、聞き手が分かっているかどうかを確認しながら伝えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の発話に対し、反応を示したり、質問したりする。 ○内容が伝わるように感情を込めて音読をするモデルを示し、参考にさせる。 ○十分に音読ができる生徒には、自分なりの表現を交えながら音読するように伝える。 ○机間巡視をしながら、要点を伝えられるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒や教師の発話に反応を示す。 ○音読できない生徒には、一緒に発音する。
<p>③教科書本文の内容を参考にして、職場体験での経験や将来の夢について伝え合う。</p> <p>④カットアウトピクチャーに表現できた情報を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○活動のモデルを示し、本時の目標とする姿を明確にする。 ○教科書本文中の表現を板書し、確認する。 ○前時に由紀と武史の職場体験や将来の夢について作成したカットアウトピクチャーを参考にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じて、表現例を示し、活動で活用できるようにする。 ○机間巡視をする中で、質問をしたり表現を伝えたりしながら、アイデアを広げ、多くの情報を書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動が行えない生徒には、個別に支援する。 ○書けない生徒には、伝えたい内容を確認しながら一緒に書く。

めあて 職場体験での経験や将来の夢について、カットアウトピクチャーを使って自分の考えを伝え合おう。

<p>⑤カットアウトピクチャーを使って職場体験や将来の夢について紹介する。</p>	<p>○写真や絵をもとに、キーワードを書き入れながらまとめるようにする。</p> <p>○必要に応じて話し手聞き手が意識する点を確認する。</p>	<p>○望ましい話し手聞き手の態度について、生徒の様子からよい点や改善点を見取り、共有する。</p>	<p>○言いたいことが伝えられない生徒には、一緒に表現を発音する。</p>
<p>⑥代表の生徒の発表を見る。</p> <p>☆カットアウトピクチャーを活用して、まとまりのある内容で紹介しているな。</p> <p>☆紹介の内容や文のつながりを変えて紹介したいな。</p>	<p>◎望ましい代表生徒の様子</p> <p>①まとまりのある内容で紹介している。</p> <p>②職場体験で行った具体的な仕事の内容を伝えている。</p> <p>③職場体験を通して考えたことや将来の夢について考えていることを伝えている。</p> <p>④to 不定詞など、習った文構造や教科書に出てきた表現を使っている。</p> <p>⑤聞き手の様子を確認しながら話している。</p> <p>⑥聞き手は、うなずいたり質問したりしながら聞いている。</p>		
<p>⑦代表の生徒の発表を参考に、修正を加え再び活動を行う。</p> <p>☆カットアウトピクチャーを使って、文のまとまりを考えながらもう一度スピーチをしてみよう。</p>	<p>○代表の生徒の発表を参考にできるように、よかった点を具体的にほめる。</p> <p>○机間巡視をしながら生徒の活動を見取り、表現が正しく使えていない際には、正しい使い方を全体に共有する。</p>	<p>○必要に応じて次の活動で活用できる表現を紹介する。</p> <p>○机間巡視をしながら、response や質問をし、発言をうながす。</p>	<p>○机間巡視をしながら、活動が行えなかったり、意識すべきことができていなかったりする生徒には、個別に支援する。</p>
<p>【外国語表現の能力】</p> <p>職場体験での経験や将来の夢について、カットアウトピクチャーを使いながら、自分の考えを伝え合うことができる。 (観察、カットアウトピクチャー、リフレクションシート)</p>			
<p>3 本時のまとめ、振り返りを行う。(10分)</p> <p>・カットアウトピクチャーを見直し、情報を加えたり修正したりしながら、活動で言えたことを振り返る。</p> <p>・カットアウトピクチャーから、教科書本文の内容を参考にして言えた表現をreflection sheetに書き出す。</p>	<p>○本時の活動で言えたことをもとに、カットアウトピクチャーに情報を付け足したり修正したりするモデルを示す。</p> <p>○お互いのカットアウトピクチャーを読み合わせながら参考にできるようにする。</p>	<p>○机間巡視をしながら、本時の活動が振り返れるような質問やコメントを言いながら、カットアウトピクチャーに情報を付け足したり、修正したりできるようにする。</p>	<p>○言えた内容を英語で書けない生徒には、個別に支援をする。</p>

V 「まとめる過程」における授業の展開（8／9）

B C

1 ねらい 職場体験での経験や将来の夢について、文章の構成を考えながらスピーチをすることができる。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：生徒の意識
1 あいさつ・帯活動(Communication Time)に取り組む。（10分） ○職業当てクイズを行い、職業について伝える表現に慣れるようにする。 ○職業当てクイズで使った職業の中からいくつか選び、その中でどの職業に就きたいかを伝え合う。			
2 本時のめあてをつかむ。（2分） <div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"><p>【本時のめあて】 職場体験での経験や将来の夢について、相手に伝わるように文章の構成を考えながらまとまりのあるスピーチをしよう。</p></div>			
3 本時の活動に取り組む。（30分） ○スピーチの練習をする。 ○スピーチを行う際の話し手と聞き手が意識すべきことを全体で確認する。 ☆話し手は、一方的に言いたいことを伝えるのではなく、話し手の理解を確認しながら行うことが大切だ。聞き手は、気になることがあれば質問したり、反応を示したりするといいいんだ。 ○スピーチをする。 <div style="border: 2px dashed black; padding: 10px;"><p>【外国語表現の能力】 職場体験での経験や将来の夢について、文章の構成を考えながらまとまりのあるスピーチをすることができる。 (観察、カットアウトピクチャー、リフレクションシート)</p></div>			
4 振り返りを行う。（8分） ○内容にまとまりのあるスピーチをすることができたか、話し手聞き手双方の相手意識を大切にできたかについて振り返る。 ☆つなぎ言葉を使って文のつながりを意識しながらスピーチをすることで、内容にまとまりのあるスピーチをすることができた。 ☆聞き手の理解を確認しながら、スピーチをすることができた。 ☆スピーチを聞いている時、気になることがあれば質問をしたり、反応を示したりすることができた。			